



2026年5月26日

各 位

会 社 名 株式会社環境フレンドリーホールディングス
代表者名 代表取締役社長 車 陸昭
(コード：3777、東証グロース)
問合せ先 経営企画室 室長 松澤 増満
(TEL. 03-6261-0081)

ファーウェイ・ジャパン及びS-Energyとの協業による リパワリング第2号案件の決定について

当社の連結子会社である株式会社EFインベストメント（以下、「EFインベストメント」という。）は、2026年2月4日付「ファーウェイ・ジャパンとの協業の検討開始のお知らせ」にて開示した華為技術日本株式会社（以下、「ファーウェイ・ジャパン」という。）とのデジタルパワー事業における協業覚書に基づく協業の検討、ならびに2026年2月10日付「S-Energyとの協業開始のお知らせ」にて開示したS-Energy Co., Ltd.（以下、「S-Energy」という。）との日本国内における太陽光発電所リパワリング事業に関する基本合意書に基づく協業に関し、第1号案件である四街道市吉岡地区第一太陽光発電所（千葉県四街道市）に続き、第2号案件が決定しましたのでお知らせいたします。

当社グループは、持続可能なエネルギーソリューションの推進を目指し、連結子会社であるEFインベストメント、株式会社EFエナジーおよび株式会社EFでんきにおいて、再生可能エネルギー発電設備（太陽光発電設備、バイオマス発電所）の取得・開発、運營業務を行っております。

近年、太陽光発電設備の老朽化や運用環境の変化を背景に、既存設備の価値向上を目的としたリパワリングや運用高度化の重要性が高まっており、EFインベストメントは複数の太陽光発電所においてアセット・マネジメント業務を受託し、設備更新や運用改善に関する支援を行っております。

第2号案件は、EFインベストメントがアセット・マネジメント業務を受託する早稲田自然エネルギー発電所（青森県三沢市）において実施されるリパワリング案件です。

本件は、当該発電所の運営事業者と、S-Energyの連結子会社である日本法人のS-Energy Japan株式会社とのあいだでEPC契約が締結されたものであり、当該EPC契約において、ファーウェイ・ジャパン製品が採用される旨が規定されております。

なお、当社グループは当該EPC契約の当事者ではありません。

今後も引き続き、第3号案件以降の決定に向けて、ファーウェイ・ジャパンならびにS-Energyとの協業を進めてまいります。

なお、本件により当社グループが受領する報酬は、リパワリング後の発電収入増加分に連動した成功報酬型であり、2026年12月期の当社連結業績に与える影響は、現時点においては軽微であると判断しておりますが、今後、開示が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

以 上